



1 白糠町の応援大使、吉田輝星選手。 2 5回表、二死満塁でマウンドに上がる吉田選手。 3 その二死満塁でピンチの場面を見事1球で切り抜け、会場から大きな拍手が送られました。 4 厚岸町出身の佐藤龍世選手は7番サードで出場。最後まで熱い声援が送られていました。

## 町

は8月23日(火)、釧路市のウインドヒルひがし北海道スタジアムで行われたプロ野球北海道日本ハムファイターズ戦を観戦する「ファイターズ応援観戦バスツアー」を行いました。

同球団の「北海道179市町村応援大使」企画の一環で、参加者には町の応援大使となっている吉田輝星、井口和朋の両選手がプリントされたウェットティッシュや応援大使タオルがプレゼントされました。

参加希望者は81組149人。抽選の結果、47組83人が選ばれました。

参加者は、町が用意したバス3台の送迎で「北海道日本ハムファイターズ対オリックス・バファローズ戦」を観戦。試合は両チームとも得点を許さず、0対0のまま7回へ。7回裏終了後、審判団が続行不可能と判断し、日没ワールドゲームで引き分けとなりました。

ツアーに参加した西庶路在住の松山和男さんと勝子さん夫婦は「すごく楽しかったです。ハラハラしながら応援していました。満塁の場面で吉田輝星選手が登板し、1球で抑えたときは感動しました。また機会があればツアーに参加したいです」と笑顔で話していました。

